



▲ エポックという花だそうです (10月7日 旧鞍中校舎玄関にて)



金光寺寺報
第232号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
☎ 0982
83-2338

今月法語カレンダーのことば

念仏とは 自己を 発見することである

徳間書店刊行『歎異抄』のなかで、金子大栄師が使われた言葉です。この言葉の直前で、金子師は次のように語っておられます。「多くの人の思いでは、仏というものがあり、自分というものがあって、それを結びつけるものが念仏ともいい、信心というものでもある一こう考えておりますけれども、それはいわゆる分析的な知識なのでありません」。

私たちがものを知るのに、二つの種類があります。理解することと体験すること、言い換えると味わうということです。金子師がはじめにいわれた表現によると、「分析的に」知ることは一応の理解力があれば可能でしょう。しかし、その方法はいくら時間をかけてもあくまで対象を向こうに見ることであって、距離を詰めることはできません。

いま、私はなぜ念仏しているのか。本願の起こり、本願は「なぜ」「誰のために」「ど

のように」起こされ、「どのように」成就されているのか。人ごととして聞くのではなく、私こそが目当てであった、むしろ「私一人のため」の本願であったと、心に響いて領解されたとき、わたしは念仏せずにおられません。そのように念仏している私は、いままでの私とは違います。愚痴と煩惱のなかでしか生きていなかった私が、愚痴と煩惱が恥ずかしいことであったと気づかされる。そこに新しい私、真実の私が誕生するのです。そこを金子師は、「念仏とは自己を発見することである」といわれたのでしょ。少し丁寧な表現に変えれば、「念仏とは真実の事故を発見することである」ということではなかったでしょうか。

(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日には緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

- ◎ 10月 13日 終日 29日 終日
◎ 11月 7日 終日 8日 終日 (宮崎市仏参)

9月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

- 2020年 9月7日 満73歳 中園 古小路 建美様
2020年 9月11日 満84歳 古賀東 田中 徳光様
2020年 9月18日 満87歳 丁子 梶原 聖様
2020年 9月29日 満87歳 丁子 津隈 ツキ子様

ホームページ開いています。 URL https://konkouji.jp/ 10月8日現在アクセス数 108,790人

ののよ知まはがとよか言を夏い防せ気一れえ温一もを真べ猛日録が八夏十
かはくらな嫌思のり月え一でて止ん象番たるは方う感夏て暑が更三月は日令
な当考さ自、いこは予、緒ものに。の低最ア七、なじで最日七新十十暑ほ和
!たえれ分冬やと気報寒に涼行向そ現か低メ・九いるも高が日、し・日日に二年
(前ばす姿いれすがは冬いいがてそとた温又度二かとの陰温日真ま六にがなも
) 我夏し改はす今く十嫌し岡め覚のかう中置全一しで入二三日たを岡きまり
松井 慢熱かめ嫌。かな二。よをらと地受でで所国日れきと十一が。観のまし二
卓 しくして、夏らり月天う守れそ球けす観で五のまたと五十二八測最したか
郎 かな冬、わ熱十そは気▼るまれ温取。測観百最せ鞍涼度日十二月し高た。月
な寒よ思がい二う例のと行すに暖れ異値測を低ん岡し以間二は、気ねこと
) いいくいまの月一年三は動ね。つ化ま常がさ超気▼はさ

